

上三川消防署に化学消防車が配備されました

令和8年9月1日（火）9時30分から、上三川消防署にて化学消防車の配車式が挙行されました。

副管理者（上三川町 星野町長）から消防長にレプリカキーが授与され、車両の説明が行われました。



車両の詳細につきましては次ページ以降をご覧ください。

上三川消防署 新上三川化学消防車

1 概要

上三川消防署に平成17年から配備されていた上三川タンク車が老朽化のため、車両整備計画に基づき更新されました。

この化学消防車（Ⅱ型）は1,500ℓの水槽、500ℓの薬液槽を積載し、通常の火災対応に加え、水では消火困難なガソリン等の油類、化学物質等による危険物火災の発生時に対応することができる消防車両です。

また、消防用水に消火薬剤を混ぜ、さらに圧縮空気を加えて、少量の水で泡を発生させることができる圧縮空気泡消火装置（CAFS）を装備しています。



2 運用開始

令和8年9月1日

今後、緊急消防援助隊（消火隊）登録車両予定。

3 仕様

全 長：約7.3 m

全 幅：約2.3 m

全 高：約3.1 m

形 式：5.5t級ダブルキャブオーバー型

変速装置：オートマチックトランスミッション

走行装置：4輪駆動

4 特長

(1) 消火

通常の放水に加え、火災の種類に応じて2種類の泡放水が可能です。

1つ目の泡は、CAFS という圧縮空気泡消火装置を使用した泡消火で、主に普通火災に効果を発揮します。車両から筒先までホースの中は軽い泡なので、通常の放水と比べ、筒先員の機動性向上及び少量の水で消火できることが特徴です。

2つ目の泡は、水と薬液槽の消火薬剤を混合して発生させた泡消火で、油火災等の危険物火災に有効です。専用の筒先で耐久性のある泡を大量に発生させることで表面を覆い、窒息消火させます。



※CAFS に使用するクラス A 泡消火薬剤は、環境に配慮している天然成分由来原料の界面活性剤を使用しています。

(2) 車両上部には長時間の大量放水ができる放水銃を搭載し、隊員が接近して消火困難な場合などに対応することが可能です。

また、様々な災害に対応するため、救助資器材等を積載しています。

